



入院準備

入院中

手術・検査

退院

ご案内

書類

入院される患者さんへ

Hospitalization guidance

入院案内



いまきいれ総合病院

基本理念



- 協力 -
全職員の協力体制



- 貢献 -
地域社会への貢献



- 向上 -
自己研鑽と向上心



- 教育 -
人材育成と教育

基本方針

- 質の高い医療の提供を目指し、全職員一致協力して努力します。
- 生命の尊さを認識し、地域社会に貢献します。
- 常に向上心を持って、自己研鑽に励みます。
- 教育病院として、質の高い人材育成に努めます。



入院前から退院まで使用しますので、
次の来院までにパンフレットの
内容をご一読ください。
受診・入院の際には忘れずに
ご持参ください。

いまきいれ総合病院は世界医師会『患者の権利に関するリスボン宣言』の精神に則り、患者さんの権利を尊重した「患者中心のチーム医療」を推進します。患者さんが子ども（18歳未満）の場合、日本小児科学会『医療における子ども憲章』を患者さんご家族にお示しし、病気になった時にも自分を大切に少しでも楽しく過ごせるように、職員が協力してお手伝いします。

以下に掲げる事項は、患者さんが医療を受けるにあたって、守られるべき権利と求められる責務ともいえる内容です。

十分に理解していただきますようお願いいたします。



患者の権利

- 良質の医療を受ける権利
- 選択の自由の権利
- 自己決定の権利
- 意思を表明できない場合に代理人に決定を委ねる権利
- 情報に対する権利
- 守秘義務に対する権利
- 健康教育を受ける権利
- 尊厳に対する権利



患者の責務

医療が安全かつ適切に行われるために、患者自身が医療者とともにチーム医療に主体的にかかわることが必要です。また、医療の安全確保のための取り組みにも患者さんの協力が欠かせません。

- 患者自身の主体的なチーム医療への参加は、患者さんのもつ権利であるとともに、責務でもあることをご理解ください。
- 医療者の説明が十分に納得できるまでお尋ねください。
- 自分自身が受ける医療行為、投与される薬などに関する疑問や不安は、遠慮なく医師や医療スタッフにお伝えください。
- 病院の規則を守り、他の患者さんのご迷惑にならないようご配慮ください。

「病院の規則」については15～16ページをご覧ください。
「患者の権利と責務」の詳細はホームページをご覧ください。



https://imakiire.jp/about_info/ 患者の権利と責務 /

いまきいれ総合病院 基本理念・基本方針	1
患者の権利・責務	2
入院決定から退院までの流れ	4

入院準備

入院準備

入院前の準備	5
手術入院決定から退院までの流れ	6
検査入院決定から退院までの流れ	7
入院当日の流れ	8
フロアマップ	9
駐車場料金のご案内	10
入院の準備	11
HCUへ入室される患者さん・そのご家族へ	13

入院中

入院中

入院中の流れ	14
病院の規則	15
入院中のお食事	17
付添い・面会等	18

手術・検査

手術・検査

安全に手術を受けるために	19
その他の注意事項	22
手術室に入ってから病室に戻るまでの流れ	23
その他・手術終了から退院に向けて	24

退院

退院

退院当日の流れ	25
医療費について	26
限度額認定証と高額療養費のご案内	27
マイナンバーカードについて	28

ご案内

ご案内

医療安全対策	29
せん妄（せんもう）について	31
肺血栓塞栓症（エコノミークラス症候群）とは	32
感染防止対策	33
ACP（人生会議）の取り組み	34
その他	35
各種相談	36
施設案内	38
病室について	39
差額病床について	40

書類

書類

入院申込書（兼誓約書）の書き方	41
入院申込書（兼誓約書）	42

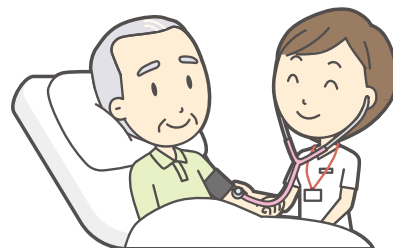
病院施設概要	44
交通機関・アクセスマップ	

入院決定から退院までの流れ

Flow from hospitalization to discharge

入院前検査や、医師により入院についての説明・面談等あります。
(詳しくは5ページ参照)

入院前の検査等

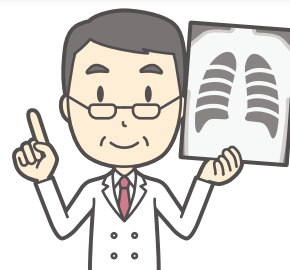


入院

当院は、紹介型急性期・救急指定病院となっているため、入院期間は12日程度となっていますが、患者さんの状態、退院後の見通し（退院先の状況等）により異なります。『入院診療計画書』に基づいて説明します。

入院期間中は、主治医より診療経過について説明します。

検査・治療手術

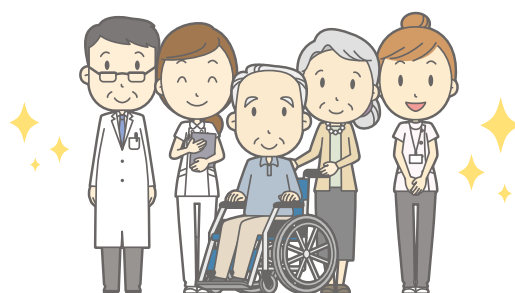


退院

『退院許可』については主治医より説明します。『退院日』については病棟師長とご相談ください。『退院支援チーム』が相談・お手伝いしますので、病棟看護師にお申し出ください。退院時間は、原則**午前10時**となります。

退院後も、当病院は『救急24時間体制』をとっていますので、安心してご相談ください。

自宅・施設・医療機関



入院前の準備

Pre-hospital preparation

入院準備

入院前の面談検査等

入院前検査
医師により入院についての説明
入院書類の配布と説明
薬剤師による服薬確認
管理栄養士による面談
手術室看護師による面談（必要時）
入院説明・入院前支援看護師による面談

- 入院決定してから入院当日までに、発熱、嘔吐、下痢等の体調不良の場合は、来院前に必ず病院へご連絡ください。
- 入院セットをご利用の方は入院セット受付窓口へお申し込みください。

お薬について

現在使用中のお薬を入院前に薬剤師が確認いたします。

**入院前外来 1 回目の再診受付後、
当院 2 階 お薬お渡し口にお持ちください。**

- お薬（市販薬、サプリメントを含む）
- お薬の情報がわかるもの（お薬手帳、お薬の説明書など）

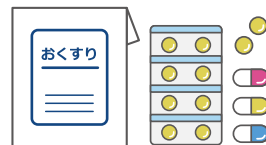


お薬お渡し口

**検査・診療科受診後の休薬説明の予約時間に 2 階お薬お渡し口にて、
休薬するお薬の有無と休薬する期間を説明し、お薬をお返しします。**

入院日にお持ちください。

- お薬 予定入院期間分（外用薬も含む）
- お薬の情報が分かるもの（お薬手帳、お薬の説明書など）



※入院時にお持ちいただいたお薬を継続して使用するかどうかは、入院後に主治医が判断します。
お薬によっては、患者さんがお持ちのお薬をすべて使用場合があります。



当院でお薬の確認をした後に、かかりつけ医などからの
処方内容が追加・変更された場合には必ず
当院 薬剤課 にご連絡ください。

手術入院決定から退院までの流れ

Flow from hospitalization to discharge

すべての面談・検査等で時間を要する場合があります。

入院準備



入院決定

入院前検査

医師により手術についての説明
入院書類の配布と説明
薬剤師による服薬確認
管理栄養士による面談

入院前までに発熱、嘔吐、下痢等の体調不良の場合は、必ずご連絡ください。

入院前 外来

循環器内科・口腔外科等の他科受診

薬剤師による薬剤指導
管理栄養士による栄養面談や栄養指導
手術室看護師による面談
麻酔科外来（必要時）

●事前に必ず「麻酔のしおり」をご一読ください。

入院説明・入院前支援看護師による面談

麻酔科受診（入院前に麻酔科外来受診がなかった場合）

●事前に必ず「麻酔のしおり」をご一読ください。

手術室看護師による術前訪問
必要に応じ、診察、検査案内

入 院



手 術

手術後説明

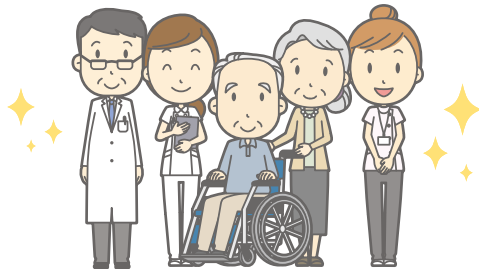
退 院

『退院許可』については主治医より説明します。

『退院日』については病棟師長とご相談ください。

『退院支援チーム』が相談・お手伝いしますので、病棟看護師にお申し出ください。

退院時間は、原則午前10時となります。



検査入院決定から退院までの流れ

Flow from hospitalization to discharge

すべての面談・検査等で時間を要する場合があります。

入院準備

入院前検査

医師により検査についての説明
入院書類の配布と説明
薬剤師による服薬確認
管理栄養士による面談

入院決定

入院前までに発熱、嘔吐、下痢等の体調不良の場合は、必ずご連絡ください。



循環器内科・口腔外科等の他科受診（必要時）

薬剤師による薬剤指導（必要時）
管理栄養士による栄養指導（必要時）
入院説明・入院前支援看護師による面談

入院前 外来



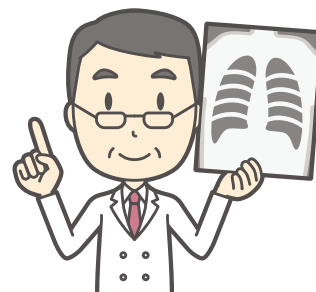
必要に応じ、診察、検査案内

入 院



検査後の説明

検 査

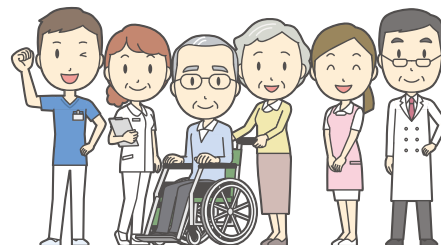


『退院許可』については主治医より説明します。

『退院日』については病棟師長とご相談ください。

『退院支援チーム』が相談・お手伝いしますので、病棟看護師にお申し出ください。

退 院



退院時間は、原則**午前10時**となります。

入院当日の流れ

Hospitalization date



入院決定してから入院当日までに発熱、嘔吐、下痢等の体調不良の場合は、来院前に必ず病院へご連絡ください。

入院当日

受付場所は患者スケジュール票（別紙）を参照

- スタッフが順番でご案内します。
- 診察券をお持ちの方はお預かりします。当院の診察券をお持ちでない方は、スタッフへお知らせください。
- 入院申込書（兼誓約書）をお持ちの方はお預かりします。

入院準備

検温 身長・体重測定 検査案内

検温を行います。

身長・体重を測定する場合があります。医師の指示がある場合、検査・外来診察があります。

入院病棟スタッフが病室をご案内します。

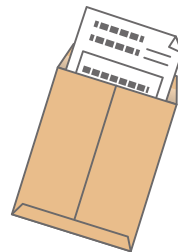
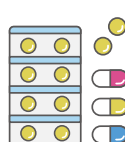
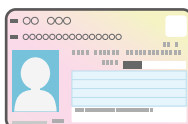
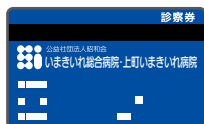
- 病室の準備にお時間をいただく場合があります。入院病棟設備の説明を行います。

病棟案内



当日ご準備いただくもの

診察券・保険証・マイナンバーカード・入院申込書（兼誓約書）・持参薬※・お薬手帳
その他関係書類（「持ち物チェックリスト」11～12ページ参照）



保険証が変更になった場合はお知らせください。

保険証の有効期限や記載内容等に変更があった場合は、新しく交付を受けた保険証を「総合受付 または 病棟医事課」へご提示ください。

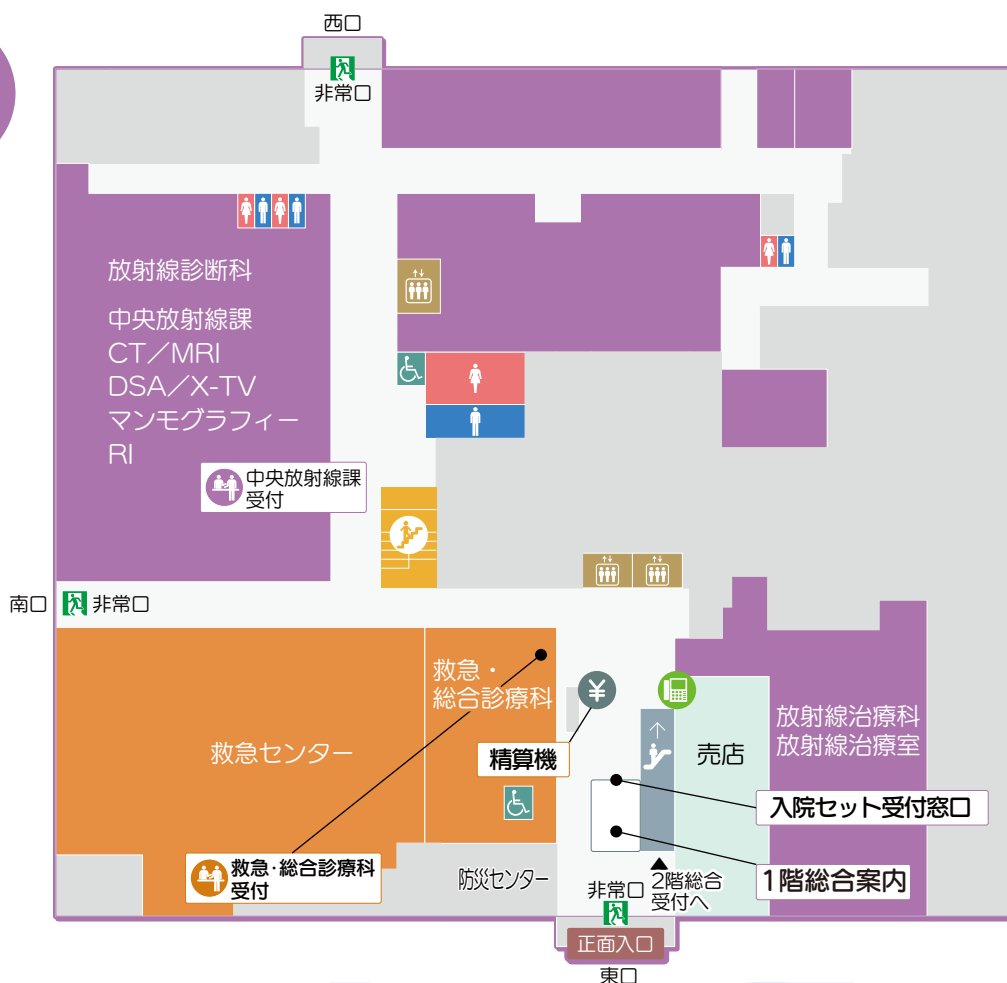
医療扶助・公費負担医療の申請をしている方や、入院後に適用を受けられた方もお知らせください。

※「持参薬」とは、患者さんが入院時にお持ちになった普段使われているお薬のことで、飲み薬、目薬、貼り薬、塗り薬、注射薬など全てのお薬が含まれます。

フロアマップ

1 階

入院準備



2 階



- エレベーター
- 階段
- エスカレーター
- 公衆電話
- 非常口
- 男子用トイレ
- 女子用トイレ
- 多目的トイレ
- 授乳室

駐車場料金のご案内

●入院中の自家用車の駐車はご遠慮ください●

※介助が必要な方のお迎えは、西口になります。
※退院迎え時は、立体駐車場をご利用ください。

キラメキ南国パーキング（南国殖産管理）
立体駐車場 30分 / 150円



入院準備

■ 当院診療・治療の方

駐車場入場後～最大12時間まで 30分/150円 → 30分/50円

※駐車券を院内へお持ちいただき、1階または2階受付、キラメキ南国ビル2階入退院支援センターで割引処理を受けてください。

外来患者さん	有料 30分/50円 (最大12時間まで)
--------	--------------------------

※最大12時間まで割引が適用されます。それ以上の駐車の場合は30分/150円で課金となります。

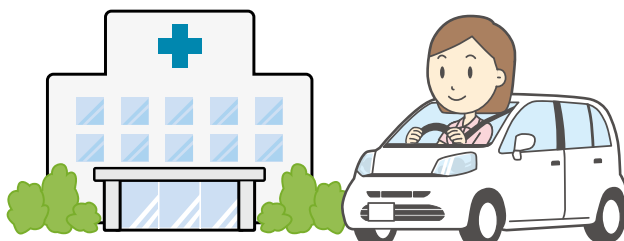
当日手術を受ける患者さん家族 ※病棟師長印で割引になります	有料 30分/50円 (最大12時間まで)
当日入退院をされる患者さん家族 ※病棟師長印で割引になります	有料 30分/50円 (最大12時間まで)
当院より呼び出しの患者さん家族 ※病棟師長印で割引になります	有料 30分/50円 (最大12時間まで)
入院患者さんへの荷物受け渡し ※1時間以内は割引になります	有料 ※(30分以内)30分/50円 (1時間)60分/100円
お見舞いの方・業者の方	有料 ※30分/150円

※原則として患者さん優先駐車場のため、有料となっております。
ただし、入庫後15分間での退出は無料となります。ご理解ご協力の程お願いします。

救急専用駐車場

月～土曜	8:30～17:30	60分 500円
	17:30～8:30	60分 300円
日・祝日	8:30～17:30	60分 300円
	17:30～8:30	60分 300円

※17時30分以降に救急受診を受けた場合は、駐車券を院内へお持ちいただき割引処理を受けてください。



入院の準備

持ち物チェックリスト

書類関係

- ☐ 診察券
- ☐ 保険証
- ☐ マイナンバーカード
- ☐ 入院申込書(兼誓約書)※41ページ書き方参照
- ☐ 入院案内「入院される患者さんへ」

- ☐ 介護保険証 [必要時]
- ☐ 70歳未満: 限度額適用認定証 [必要時]
- ☐ 70歳以上: 限度額適用・標準負担額減額認定証 [必要時]

- ☐ 手術同意書 [手術予定の方]
- ☐ 輸血同意書 [手術予定の方]
- ☐ 麻酔同意書 [手術予定の方]

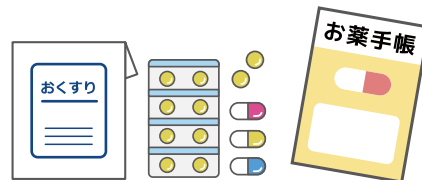
- ☐ その他事前に渡された問診票・説明書など [手術・検査予定の方]
- ☐ 「麻酔のしおり」 [手術・検査予定の方]

- ☐ 「わたしの想い」 [18歳以上の方]
- ☐ 「生活のしやすさに関する質問票」 [化学療法予定の方]

- ☐ 筆記用具

お薬

- ☐ お薬手帳
- ☐ 持参薬 予定入院期間分 (外用薬も含む)※



※「持参薬」とは、患者さんが入院時にお持ちになった普段使われているお薬のことで、飲み薬、目薬、貼り薬、塗り薬、注射薬など全てのお薬が含まれます。

口腔ケア用品

- ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉
- ☐ 義歯・義歯洗浄剤・義歯ケース
- ☐ コップ2個(プラスチック製)
- ☐ 吸い飲み [必要時]
- ☐ ガーグルベースン [必要時]
※ベット上で歯磨きの際に吐き出す容器
- ☐ ポイントブラシ [必要時]
- ☐ 歯磨きスポンジ [必要時]
- ☐ 口腔ケア用保湿ジェル [必要時]

日常生活用品

- ☐ ティッシュ1箱
- ☐ ボディソープ・シャンプー・リンス
洗顔フォーム
- ☐ 保湿剤 [皮膚乾燥時]
- ☐ ヘアブラシ
- ☐ タオル
- ☐ バスタオル
- ☐ イヤホン(個室以外)
- ☐ マスク
- ☐ とろみ剤 [必要時]
- ☐ パジャマ
- ☐ 前開きパジャマ [必要時]
- ☐ 肌着
- ☐ 前開き肌着 [必要時]
- ☐ 履き慣れた靴
(スリッパ、クロックス不可)
- ☐ 洗濯物を入れる袋
- ☐ ハンガー [必要時]
- ☐ ドライヤー(無料貸出用あり)

※ご自分でお持ちのものは、自己管理をお願いします。義歯や補聴器の紛失にご注意ください。

その他

使用者のみ

- ☐眼鏡・眼鏡ケース
- ☐補聴器・補聴器ケース
- ☐髭剃り(電動タイプ)
- ☐パンツ型オムツ(枚)

- ☐平オムツ(枚)
- ☐テープ式オムツ
- ☐おしりふき
- ☐腹帯(マジックテープ式)
- ☐胸帯(マジックテープ式)
- ☐ナプキン(婦人科)

※入院前に手足のマニキュア、ジェルネイル、化粧など落としてください。
(入院中に化粧はできません)

入院準備

レンタル可能な日用品

レンタルに関しては、1階売店前の入院セット受付窓口までお問い合わせください。(※38ページ参照)

- タオル
- テープ式オムツ
- バスタオル
- パンツ型オムツ
- 前開きパジャマ
- 平オムツ
- 前開き肌着



売店で購入可能な日用品

1階売店にて日用品の販売をしています。

- 歯ブラシ・歯磨き粉
- 義歯洗浄剤・義歯ケース
- コップ(プラスチック製)
- 吸い飲み
- ガーグルベースン
- ※ベット上で歯磨きの際に吐き出すもの
- ポイントブラシ
- 歯磨きスポンジ
- 口腔ケア用保湿ジェル
- ティッシュ
- ボディソープ・シャンプー・リンス・洗顔フォーム
- ヘアブラシ
- タオル

- バスタオル
- イヤホン
- マスク
- とろみ剤
- 前開きパジャマ
- 前開き肌着
- 下着
- 室内履き
- ペットボトルの水
- テープ式オムツ
- パンツ型オムツ
- 平オムツ
- おしりふき
- 腹帯(マジックテープ式)
- 胸帯(マジックテープ式)



HCUへ入室される患者さん・そのご家族へ

HCUとは「High Care Unitの略で「高度治療室」になります。

HCUへの入室は、重篤な患者さん・専門的な治療を要する患者さん・手術後の患者さんなど、医師の指示により入室します。病床は10床です。



全景



各ベッド

HCU面会について

- HCU入院中の面会は、患者さんの状態によって調整をしています。
対面面会・オンライン面会につきましては、一般病棟と予約方法が異なりますので、電話でお問い合わせください。

荷物の管理について

- HCU入室に際しては、**必要な荷物のみを預かります。**
必要物品以外の荷物は原則、持ち帰りをお願いするか、当院のロッカーに保管となります。詳細は病棟またはHCU看護師へお尋ねください。(ロッカーに預ける場合、100円が必要となりますが返却されます)
- 貴重品の預かり、持ち込みは遠慮いただいております。
(★貴重品: アクセサリー・現金・携帯電話など)

必要物品について (紛失防止のため、準備された全ての荷物には事前に記名をお願いします)

- | | |
|--|--|
| ☐ バスタオル(3~5枚) | } タオル、バスタオルは入室期間や上記に応じて使用する枚数が異なります。
入院セットで『病衣・タオルプラン』を利用されている方は準備する必要はありません。 |
| ☐ フェイスタオル(5~6枚) | |
| ☐ 病衣(HCU入室中はHCU専用があります。HCU退出時に病衣が必要となりますので『病衣・タオルプラン』の手続きをして頂くかご自身の寝衣をご準備ください) | |
| ☐ オムツ・おしり拭き(枚数は病状によって異なります)
入院セットで『紙オムツセット』をご利用される方は、オムツの準備は不要です。不足が生じた際は、看護師からご連絡させていただきます) | |
| ☐ 箱ティッシュ(2~3個) | |
| ☐ コップ(プラスチック製)または吸い飲み | |
| ☐ ストロー(2~3本)コップを使用する場合に使用します | |
| ☐ 歯磨きセット(必要時、スポンジブラシ・口腔保湿剤の準備をお願いする場合があります) | |
| ☐ イヤホン(テレビを視聴時に必要です) | |
| ☐ 耳栓(必要時)オープンフロアのため雑音が聞こえやすいです | |
| ☐ 眼鏡・眼鏡ケース(使用されている方) | |
| ☐ 義歯・義歯ケース(使用されている方)ケースと洗浄剤の準備もお願いします | |
| ☐ 電気ひげ剃り(普段使用されている方) | |
| ☐ 履き慣れた靴(スリッパ、クロックス不可) | |
| ☐ 未開封のペットボトル水またはお茶(500ml 1~2本) | |

入院中の流れ

Hospitalization date

入院中

6時点灯

採血や検温が必要な場合は
看護師が病室へ伺います。



8時朝食

病棟スタッフが配膳します。



看護師が検温に伺います。

9～11時
検温



12時昼食

病棟スタッフが配膳します。

必要に応じて
看護師が検温します。

14～16時
検温



必要に応じて
看護師が検温します。

18時夕食

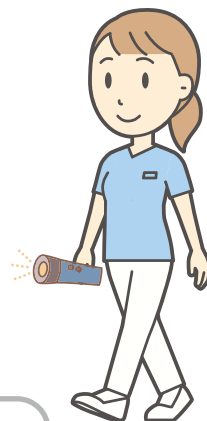
病棟スタッフが
配膳します。



19～20時
検温

21時消灯

夜間も看護師が
巡視します。



※回診は、医師、看護師等が病室に伺います。時間は看護師が案内します。
※手術入室までの準備については、看護師が説明します。
※リハビリや処置・検査・治療などについては病棟スタッフが説明します。
※清潔ケアやシャワー浴時間などについては病棟スタッフが案内します。
※痛みの強さを0～10の数字で教えてください。（痛みを我慢しないで！）

ルール・マナーを守りましょう。

迷惑行為に対する当院の対応について

以下のような行為に対し、職員が注意・勧告などを行っても改善されない場合には、『診療お断り』・『強制退院』・『病院への出入り禁止』・『警察への通報』等、しかるべき措置を講じることがあります。

- 暴力行為を行う。
- 卑猥な言葉を発したり、みだりに接触する。
- 暴言または脅迫的な言動を行う。
- 電話で緊急性のない質問やクレームを執拗に続ける。
- 解決しがたい要求(謝罪や面談等)を繰り返し行い、診療や病院業務を妨げる。
- 建物設備や医療機器、備品を破損・紛失する。
- 危険な物品を院内に持ち込む。
- SNS等のソーシャルネットワークを用い、暴言や虚偽の内容を拡散させる。
- 職員または当院の関係者に対する誹謗中傷を行う。
- 療養に専念せず診療目的から逸脱した行為を行う(院内での飲酒・喫煙・無断外出等)。
- 正当な理由なく院内に入り込み退去指示に従わない。
- 病院の規則、職員の指示に従わない。

ベッドコントロール(病床適正管理)にご協力をお願いすることがあります。

病状などによって病室を変わっていただくことがあります。

予約入院の方でも、病室の準備ができるまでしばらくお待ちいただくことがあります。

退院は午前10時にお願いします。

病院敷地内の喫煙は禁止です。

当院は**敷地内全面禁煙**です。電子タバコを含むタバコの喫煙は禁止です。持ち込みもご遠慮ください。

病院内での飲酒は禁止です。

アルコール飲料は持ち込まないでください。また、ノンアルコールビール・ノンアルコール酎ハイなど類似の飲料の持ち込みもご遠慮ください。

多額の現金・貴重品はお持ちにならないでください。

盗難防止のため、備え付けのカギ付きの引き出しを活用ください。カギは自己管理をお願いします。**多額の現金や貴重品はお持ちにならないでください。当院では責任を負いかねます。**(治療費は、銀行等のキャッシュカード、クレジットカードなどでお支払いは可能です)

外出や外泊は原則できません。

やむを得ない事情がある場合は、主治医にご相談ください。
当院敷地外(Aコープ等)の買い物も外出になります。



病院内での撮影・録音は禁止です。

カメラ・スマートフォン等で病院内を撮影・録音することは禁止となっています。

携帯電話を使用される方は談話室等で使用ください。

携帯電話は、**マナーモードに切り替え**、他の患者さんの迷惑にならないようご協力ください。診察・看護の妨げにならないよう個人管理をお願いします。

パソコン・タブレット端末・ゲーム機等は原則持ち込みできません。

必要時は必ず病棟スタッフにご相談ください。
なお、管理については自己責任をお願いします。



テレビ・ラジオ等の音を発する電子機器は、イヤホンをご使用ください。

療養中は静かに行動し、院内の静かさが保たれるようにしてください。特にテレビ・ラジオ等の音を発する電子機器は、同室の方の迷惑にならないように**イヤホン**をご使用ください。（イヤホンは売店でも購入できます）

シャワー浴時間は看護師にご確認ください。

シャワー浴は、事前予約制となっています。病棟看護師が予約を行いますので、お声かけください。

病室の消灯時間は21時です。

他の患者さんの迷惑にならないよう、ご協力をお願いします。

原則、他の医療機関(かかりつけ医を含む)を受診することができません。

- ・当院入院中にかかりつけ医で処方されている薬がきれるため、ご家族がお薬をもらいにいく
- ・当院入院中に定期的にかかっている医院や病院の診察日があるため受診する

上記のような場合は、必ず主治医や病棟看護師へご相談ください。
事前のお申し出なしに、他医療機関を受診された場合、他医療機関で医療費全額(10割)を自己負担していただくこともありますのでご注意ください。

院内での広報・販売・勧誘・宗教活動等をご遠慮ください。

院内での各種の広報・販売・勧誘・宗教活動等は、禁止となっています。

病院職員に対するお心づかいはお断りしています。

医師および看護師等職員へのお心づかいはお断りしていますので、ご協力をお願いします。

より良い病院づくりのため、ご意見箱を設置しています。

院内各所にご意見箱を設置し、みなさまから貴重なご意見をいただいております。いただいたご意見は、当院の改善へとつなげています。

入院中のお食事

当院では、入院時食事療養費(1)に関する届出を行って食事を提供しています。

- 管理栄養士の管理のもと、適時・適温で提供いたします。
- 病院食事以外の飲食物の持ち込み等(特に要冷蔵)は、ご遠慮ください。
- 医師の指示のもと、疾患や病状に合わせたお食事が提供されます。



食品アレルギーのある患者さんへ

食品にアレルギー症状がある患者さんは、「薬物・食物アレルギー、ショックについての問診票」にご記入ください。



嗜好に関する食事について

食品アレルギー以外の嗜好による食品除去(ピーマンや人参といった除去等)については対応いたしかねますので、ご了承ください。

入院中

治療の一環で、医師の指示のもと、特別食(減塩・脂肪制限・糖尿病・脂質異常症・術後食など)を症状に合わせて提供しています。えん下障害(飲み込みの障害)のみられる患者さんには、言語聴覚士と連携し食事形態を個々のえん下状態に合わせて提供しています。やむを得ず持ち込みをされる場合は、主治医の許可が必要です。

一般食の場合においては、個人(年齢・性別・体格など)に合わせた食事量の提供を目標(日本人の食事摂取基準※)に準じて、エネルギーコントロール食を導入しています。また、管理栄養士による入院患者さんへの栄養指導・相談を行い、退院後の外来通院となった患者さんへも栄養フォローを行っています。お気軽にご相談ください。

- ※ 日本人の食事摂取基準とは、健康な個人または集団を対象として、国民の健康維持・増進・生活習慣病の予防を目的に、エネルギー及び各栄養素の摂取基準を示したもの。
- ※ 一般常食の予定献立を1週間毎に病棟掲示板へ提示しています。
食事内容は、食物アレルギーや疾患や治療食、禁止食材により献立変更や個別対応となる場合があります。災害等の影響や食材流通の関係により、予定献立は変更となる場合があります。
病院献立の配布や資料のみのお渡しは行っておりません。
栄養指導ご希望の方は、お申し出ください。

お食事時間

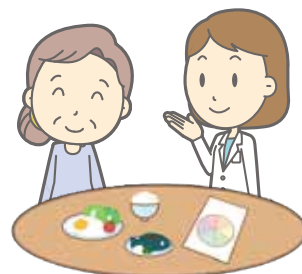
毎	日	時 間
朝	食	8:00
昼	食	12:00
夕	食	18:00

※食事の変更は、前日16:00までの〆切りとなります。

栄養指導・栄養相談時間

曜日(日・祝日除く)	午 前	午 後
月曜日～金曜日	9:00～12:00	14:00～16:00
土曜日	9:00～11:30	

※前日までに要予約
(ご希望の際は、お早めにスタッフへお知らせください)



付添い・面会等

付添いについて

入院中のお世話は、看護師がいたしますので付添いは必要ありません。ただし、主治医が必要と認めた場合は、ご家族の方の付添いは可能です。
その際は届けが必要ですので、スタッフステーションにお申し出ください。
院内にいる間は「付添証」の着用をお願いします。
(食事の提供また寝具簡易ベッドの貸し出しは行っておりません)

面会等について

大切な治療・看護のためにぜひご協力ください。
患者さんによっては食事制限のある方もいらっしゃいますので、食べ物のお見舞いはご遠慮ください。
●特別な理由(手術・病状説明等)がない限り、面会時間外での面会をご遠慮ください。

患者さんの容態や感染拡大の状況に応じて急な変更を行う場合があります。

【対面での面会方法】

- 面会条件 入院後7日以上経過し、移動が可能な患者さんとしてします。
術後など離床困難な患者さんはオンライン面会をお願いします。
患者さんお一人に対し、面会は7日間で1回までとさせていただきます。
詳しくはホームページをご覧ください。
- 面会人数 患者一人あたり1回2名まで(キーパーソンの方を優先します)
- 面会時間 火曜日～金曜日(祝日を除く) 14:00～16:00
1回15分 1時間あたり2組
- 面会場所 各階デイルーム
- 面会方法 面会当日の3日前までに対面面会予約サイト
(右記URLまたはQRコード)からご予約ください。



対面面会予約
サイトは
こちらから

【オンラインでの面会方法】

- Zoomを使用したオンライン面会です。
面会予約サイト(右記URLまたは QRコード)からご予約ください。



オンライン面会予約サイトはこちらから▶

荷物の受け渡しについて

入院患者さんへの荷物の受け渡しは、1階総合案内にて火・木・土・日の14:00～16:00の対応となります。患者さんとの直接の受け渡しはできません。

万一の災害時は

火災を発見したときは、大声で近くの方や職員にお知らせください。

緊急サイレンが鳴動しましたら災害発生です。院内放送に従い、職員の指示に従ってください。
なお、避難経路につきましては、病棟入口の掲示板をご確認ください。

避難の際には次のことに注意してください。

職員の指示に従い、**単独行動はとらない**でください。お互いに助け合い、**落ちついて行動**してください。**エレベーター**は、停電などにより途中で停止してしまう恐れがありますので、**利用しない**でください。

院内保安について

- 当院では、夜間も当直医・看護師の他に、警備員が勤務していますので、安心しておやすみください。
- 火気には、充分ご注意ください。電熱器の使用は固くお断りします。
- 万一、火災その他の災害が発生した場合には、医師・看護師・職員または当院の関係者の指示にしたがって避難してください。
- 保安対策のため、出入口の施錠時間は院内掲示のお知らせをご覧ください。
- 救命のために昼夜を問わず(24時間体制)院内一斉放送をする場合があります。



安全に手術を受けるために



下記の場合は、
手術を担当する**診療科の外来**に
ご連絡ください。

- 感染症にかかったとき(手術前1週間以内に風邪をひいた時など)
- 発熱があるとき
- 新たな病気が見つかったとき
- 大きなけがをしたとき
- かかりつけ医から処方されている薬の内容が変わったとき
※手術前に中止しなくてはならない薬もありますので、内服前にご連絡ください。
- 急用などで、予定通りに受診・入院することが難しいとき

Q. 風邪をひくと手術は受けられないの？

A. 全身麻酔では人工呼吸を行います。風邪の症状がある時に人工呼吸を行うと、全身状態の回復が遅くなったり、肺炎を起こしたりする可能性が高くなります。症状によっては手術を延期する場合があります。

〈手術前の予防接種について〉

- 当院では予防接種から手術までは、不活化ワクチン(インフルエンザ、肺炎球菌など)の場合は1週間以上、生ワクチンでは3週間以上あけていただくことになっています。
- 期間が守られていない場合、手術が延期となる場合があります。
- 手術後の予防接種は、主治医の許可が出てから受けてください。
- 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種については、少なくとも手術の前後1週間は避けてください。

※診療科により期間が異なる場合があります。主治医の指示に従ってください。

※接種した日を0日とします。

※原則、手術後1週間後から予防接種は受けられます。



入院までの注意事項

〈禁煙について〉

- 現在喫煙している方は、**すぐに禁煙してください。**(電子タバコも含む)
- **手術前2週間以上の禁煙を原則とします。**

Q. タバコを吸っているとどんなデメリットがあるの？

A. 喫煙していると、酸素の取り込みが少なくなり、**傷の治りが悪くなります。**
手術後に痰が増え、肺炎や無気肺といった肺合併症を起こしやすくなります。

- 喫煙している場合は、**全身麻酔の手術はできない場合もございます。**
- 副流煙も悪影響を及ぼしますので、ご家族の方も禁煙にご協力ください。

〈口腔ケアについて〉

- 当院では手術前に歯科を受診していただき、口の中の状態をチェックします。
口腔内の清掃と、ぐらついている歯がある場合はその治療をします。
※歯科受診がなかった場合は入院面談時に、看護師が口腔内の観察をする場合がございます。

手術・検査



Q. お腹の手術なのに、どうして歯の治療が必要なの？

A. 全身麻酔では、口から人工呼吸のチューブを入れるため、歯垢や歯石などの汚れがあると、肺炎などの合併症を起こすことがあります。また、ぐらついた歯や弱くなった歯は、人工呼吸の際に抜けてしまう恐れがあります。これらの予防のために口腔ケアが必要です。

〈飲酒について〉

- 入院中の飲酒はお止めください。
また、入院前と退院後の飲酒については、主治医へご相談ください。
ノンアルコール飲料と表記されている飲料についても禁止とさせていただきます。

〈食事と栄養指導について〉

- バランスの良い食事を心がけてください。
- 栄養状態の改善が必要な方や食事のとり方に注意が必要な方、
また医師から指示のあった方は、手術前に栄養指導を受けていただきます。



安全に手術を受けるために

〈呼吸訓練、運動、体力づくり（早期回復に向けての準備）〉

- 手術後は痛みなどにより呼吸が浅くなり、痰を出しにくくなります。手術前に運動をして呼吸機能を高めておくことで、肺炎や無気肺になるリスクを減らすことができます。



Q. 具体的にどんなことをしておけば良いの？

A. 呼吸訓練としては、腹式呼吸の練習や、大きく息を吸ってできるだけ早く吐くという動作を繰り返し行うと良いです。術前の運動としては有酸素運動が効果的です。

手術後の深呼吸は痰の排出を促し肺合併症予防につながります。
口すぼめ呼吸法を使って腹式呼吸を練習しましょう。

口すぼめ呼吸



腹式呼吸



病歴の確認について

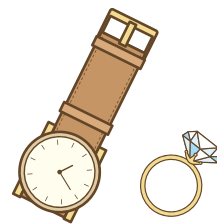
- これまでにかかった病気や現在治療中の病気、アレルギー、生活習慣について伺います。安全に手術・麻酔を行うために必要ですので、すべてお話してください。
- アレルギーは命にかかわる場合があります。特に薬、食べ物、金属、アルコール、ゴム製品のアレルギーについては、必ずお申し出ください。

その他の注意事項

手術・検査前に外していただくもの

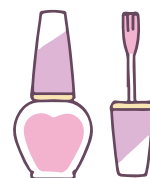
〈 貴金属類（アクセサリー・ピアス・指輪・時計）・その他（湿布・入れ歯等） 〉

貴金属を身につけていると、電気メス等を使用する際に、火傷をする可能性があります。
アクセサリー類・ヘアピンなども手術・検査前に外していただきます。
特に指輪は、手術・検査直前に外れないため、慌てることがあります。
手術後、検査後に指先が浮腫み、血行障害や神経障害を引き起こす可能性もありますので、入院が決まったら、指輪が外れるかの確認をお願いします。
指輪が外れない場合は、カッターで切断することがあります。



〈 マニキュア（ジェルネイル）・ペディキュア（透明であっても×） 〉

爪は患者さんの呼吸状態や、様々な身体の状態を知る大切な観察部位となります。
マニキュアなどを施されていると、全身状態の評価ができなくなります。
ジェルネイルは、外すために予約が必要な場合がほとんどです。直前に慌てないよう早めに確認してください。
また、長すぎる爪も思わぬ怪我の原因になりますので、入院前に短く切ってください。



〈 化粧（ファンデーション・アイシャドウ・口紅・頬紅） 〉

顔色も呼吸状態や循環動態など、患者さんの身体状態を知る大切な観察部位となります。
患者さんの肌や唇の色を観察しますので、入院中は控えていただき、手術前はすべて落としてください。肌色を調整する化粧品（下地クリーム・薄付きファンデーション・パウダー類）もご遠慮ください。



〈 かつら・ウィッグ 〉

金属を使用していないものでも、身体を動かすときなどに頭部や頭皮、頸部を痛める可能性があります。
病室から外にでる際、外すことに抵抗がある場合は看護師にご相談ください。
また、髪の毛の長い方は束ねていただきますので、ヘアゴムをご持参ください。

〈 まつげエクステ・つけまつげ 〉

手術中は目を保護するために、テープで覆う場合があります。
まつげエクステは、入院前に外していただくようお願いします。



〈 眼鏡・コンタクトレンズ・補聴器 〉

眼鏡・コンタクトレンズ・補聴器は外していただきます。
入室時に眼鏡が必要な方は、看護師にご相談ください。



〈 顔のひげそりをお願いします 〉

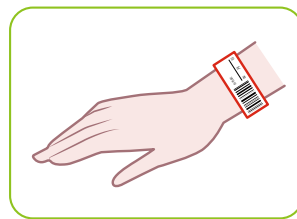
ひげは医療器具、挿入物（挿管チューブや胃管チューブ）の固定の妨げになります。
入院時から入院中は、顔のひげそりをお願いします。



手術室に入ってから病室に戻るまでの流れ

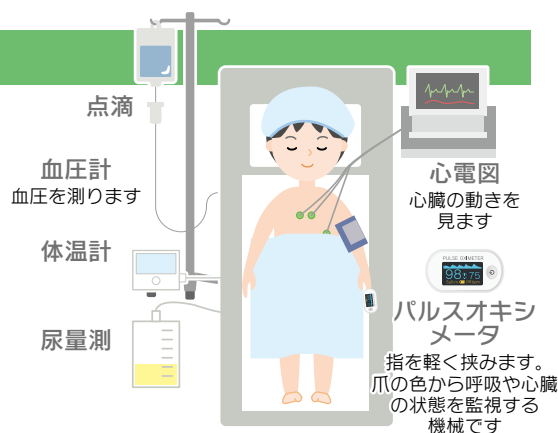
手術室に入ります

- 手術室へは肌着を脱いで手術着に着替えてきていただきます。はだけやすいので下着・ズボンは履いたままで結構です。(金属類の付いていないもの)病衣をレンタルしている場合は、病衣のまま搬入となります。
- 病棟看護師とともに手術室へ入ります。
- 手術室看護師が引き継ぎます。
- 本人確認のため、名前と生年月日を言っていただき、腕のネームバンドで確認をします。手術部位の誤認防止のため「マーキング」を行います。マーキングは、数日残る可能性があります。



手術室に入ってから

- 手術室の入り口でもう一度ネームバンドで名前の確認をします。
- 手術台が狭いのでご注意ください。
- 手術室は一定温度で管理しています。寒さを感じる場合は、看護師にお声かけください。
- 血圧計、心電図、パルスオキシメータ(身体の酸素をはかる機械)を装着します。



手術・検査

手術室に入ってから

- 手術台が狭いため、危険防止のため手足を固定します。
- 口に酸素マスクを当てます。酸素が流れているので、ゆっくり呼吸してください。
- 麻酔科医師が声をかけながら少しずつ麻酔をかけていきます。
- 麻酔をかけた後、自然に尿が出るように管を入れる場合があります。
- 床ずれを防止するために、クッションを使います。
- 手術中に、足の血流が滞らないように、足をマッサージする機械を付けて血液の流れを助けます。
- 手術中は、寒くないようにベッドに温かい空気を流して身体を温めます。



手術終了から退室まで

- 麻酔の覚め具合を確認するため、看護師が名前を呼び、手を握りながら声をかけます。
- 麻酔から覚めたら口に呼吸を助けるチューブが入っています。ゆっくり口で呼吸をします。
- 麻酔が覚めたことを確認したら呼吸を助けていたチューブを医師が抜きます。
- 手術台が狭いため、動かないようにします。
- 口に酸素マスクを当てます。
- ベッドに移り、病棟へ戻る準備をします。
- ベッドで病室へ戻ります。



その他・手術終了から退院に向けて

輸血について

- 手術時の出血が多い場合や術前に貧血がある場合などは、生命の維持や全身状態の安定のために輸血が必要となることがあります。
- 宗教上の理由等により輸血を拒否される患者さんについては、手術の術式や全身状態によっては、当院での手術自体をお断りする場合があります。また、当院で手術を行う場合でも「免責証明書」を提出していただく必要があります。

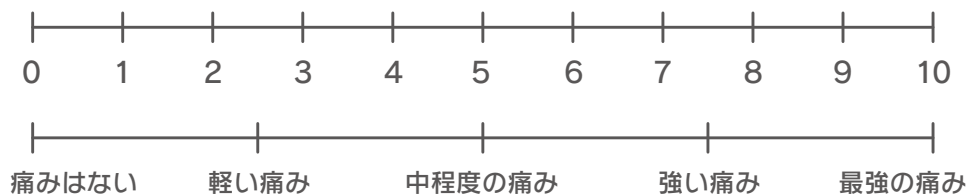


家族の同伴入室について

- 同伴入室の対象となるのは、原則として未就学児のお子さんが対象です。対象以外の同伴入室は、手術室看護師へご相談ください。

術後の痛みについて（痛みを我慢しないで！）

- 手術後の痛みが強いと、早期の離床が困難となり、術後の回復が遅くなります。**痛み止めをしっかりと使って積極的に動くことが重要です。**
- 痛みの強さを0～10の数字で教えてください。
我慢せず、1～5の中程度より軽い痛みのタイミングで教えてください。
- 手術によって痛み止めの方法も変わります。手術の内容の程度や、患者さんの全身状態に合わせた痛み止めを行います。痛みの感じ方には個人差がありますので、痛み止めが不十分な場合は我慢をせずに申し出てください。



手術・検査

術後の早期離床とリハビリテーション

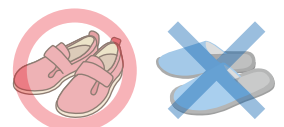
- 手術が終わった後は、できるだけ早くリハビリを開始することが重要です。寝たままの期間が長くなると、肺炎や無気肺、腸閉塞、静脈血栓症、褥瘡、せん妄といった合併症が起こりやすくなり、元の生活に戻るために時間がかかってしまいます。
- 手術後の痛みが強いと動くのが辛くなりますので、痛みは我慢せず鎮痛薬をしっかりと使ったうえ、積極的に動くようにしてください。ベッド上でもできるだけ起き上がったり、体を動かしたりしてください。

Q. 手術後はいつから歩けるの？

A. 手術によって異なります。医師の指示にしたがい、看護師から説明があります。全身状態をみながら、できるだけ手術翌日から歩行やリハビリを開始するようにしています。最初の歩行時は看護師が付き添いますので、指示があるまではベッド上で過ごしてください。

〈お願い〉

- 転倒を防ぐため、履き慣れた靴で滑りにくい靴底のものを
ご準備ください。（スリッパ、クロックスは不可です。）
- 手術中の貴重品の保管、管理につきましては病棟看護師におたずねください。



退院当日の流れ

Discharge day flow

退
院

主治医が、病状を十分判断したうえで決定します。
退院日については、病棟師長とご相談ください。
当院は救急指定病院として1人でも多くの患者さんを受け入れなければなりません。決められた退院日の退院をお願いします。

退院日 決定

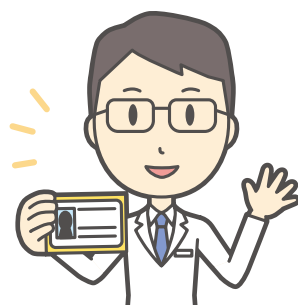


退院時間

退室時間は、原則、退院日の
午前10時としています。
忘れ物のないよう、退院時には
今一度ベッドの周辺を確認して
ください。**(テレビリモコン・床
頭台の鍵は必ずご返却ください)**
●お迎えのご家族等は、1階、2階の
総合案内にお声かけください。

病室にて医事課より請求書をお渡し、または2階②番会計窓口にご準備してあります。

お支払い



退院後

診察券は、退院後も外来受診で必要となります。
必ず保管ください。

医療費について

医療費のお支払い

毎月末日締め翌月10日および退院日に請求書をお届け、
または下記窓口に準備しています。

- 平 日 … 2階②番会計窓口
- 土・日・祝日 … 1階救急外来窓口

お支払いは自動精算機をご利用ください。
費用でお困りの方は、患者サポート窓口・病棟医事課にご相談ください。

治療費を銀行等のデビット機能のついた
キャッシュカードでお支払いいただけます。

鹿児島銀行・福岡銀行・南日本銀行・鹿児島相互
信用金庫・鹿児島信用金庫・郵便局・農協・九州
労働金庫・都市銀行 等



また、クレジットカード、デビットカード、コード決済(ゆうちょPay・YOKA / Pay)でのお支払いもできます。

詳しくは窓口(2階②番会計窓口)へおたずねください。



※院内にATMはありません

診断書の証明

診断書等の証明は、2階④番文書窓口で取り扱っています。
なお、**入院証明書(診断書)、各生命保険等の書類は退院前日より受付**しています。
(土曜日・日曜日に退院の方は、金曜日に受付しています)
また、生命保険会社提出用の診断書は、2～3週間ほどかかります。
あらかじめご了承ください。

- 〈診断書等のご案内〉
- 平 日 … 9:00～17:00
 - 土・日・祝日 … 終日不在



限度額認定証と高額療養費のご案内

限度額認定証の交付後、受付に提示いただくことで、治療費を自己負担上限額に抑えることができます。また、全額支払後、下記の該当区分で一定額を超えた場合(医科・歯科別)、その超えた分が高額療養費として、あとでご自身加入の健康保険から払戻を受けることも可能です。高額療養費が支給されるのは、①1人が、②同一月内に、③同一医療機関等の窓口で支払った医療費が下記自己負担限度額を超えたときです。

医療費の自己負担限度額（1カ月あたり）

70歳未満	区分ア 標準報酬月額 (月額83万円以上)	252,600円+(総医療費-842,000円)×1% 【 140,100円 】
	区分イ 標準報酬月額 (月額53万～79万円)	167,400円+(総医療費-558,000円)×1% 【 93,000円 】
	区分ウ 標準報酬月額 (月額28万～50万円)	80,100円+(総医療費-267,000円)×1% 【 44,400円 】
	区分エ 標準報酬月額 (月額26万円以下)	57,600円 【 44,400円 】
	区分オ 低所得者 (住民税非課税世帯)	35,400円 【 24,600円 】

70歳以上			外来+入院(世帯ごと)	
			外来(個人ごと)	
	現役並みⅢ (月額83万円以上)		252,600円+(総医療費-842,000円)×1% 【 140,100円 】	
	現役並みⅡ (月額53万～79万円)		167,400円+(総医療費-558,000円)×1% 【 93,000円 】	
	現役並みⅠ (月額28万～50万円)		80,100円+(総医療費-267,000円)×1% 【 44,400円 】	
	一般 (現役並み・低所得以外)		18,000円 (年間上限144,000円)	57,600円 【 44,400円 】
	(住民税非課税) 低所得者	Ⅱ		8,000円
Ⅰ (年金収入80万円以下等)		15,000円		

※【 】内は4回目以降の上限金額です。

上記治療費には、食事代や個室代は含まれません。

詳細につきましてはご加入の健康保険にお問合せのうえ、お手続きをお願いします。

マイナンバーカードについて

マイナンバーカードをご利用ください

一人ひとりの過去の診療・薬剤情報などに基づいたより良い医療が受けられます

医療機関・薬局に受診等した際、診療・薬剤・特定健診情報の提供に同意すると、ご自身の情報に基づいた診断や重複する投薬を回避した適切な処方や指導などを受けることができます。



高額な医療費が発生した場合でも書類での事前申請や高額な立替が不要になります

突然の手術や入院で高額な医療費が発生した場合でも、事前の申請や高額な立替払いをせずに、高額療養費制度が適用され、一定額以上の支払いがその場で不要になります。



 厚生労働省 ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

医療機関・薬局に提供される情報

患者さん本人が医療機関での情報提供に同意すると、以下の情報が共有されます。

- 保険者番号
- 被保険者証記号・番号
- 枝番
- 限度額適用認定証区分
- 適用区分※1
- 交付年月日
- 回収年月日
- 長期入院該当年月日※2

※1 自己負担限度額を算出する際に適用する区分であり、被保険者等の標準報酬や前年度所得の水準に応じて設定されるものです。特定疾病療養受療証の特定疾病区分についても、本人の同意があれば医療機関・薬局で閲覧可能です。

※2 限度額適用・標準負担額減額認定証の交付対象者であれば医療機関に共有されます。

退
院

医療安全対策

安心して医療を受けるために、医療行為や情報提供を受けるときは、安全のための確認に患者さんご自身にも参加していただくようお願いしています。また、患者さんやご家族と医療従事者とのより良いパートナーシップを築くことは、医療安全に欠かせないものです。

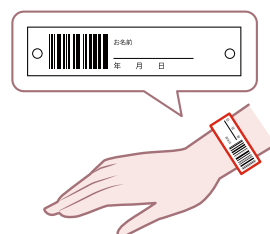
患者さんの確認について

- ご本人確認のため、お名前をフルネームで名乗っていただきます。

診療行為の過程で、職員から何度もお名前を名乗っていただくようお願いすることがあります。病院には同姓や似たお名前の方もいらっしゃるため、聞き間違いなどの誤認防止のために、名乗ってもらったお名前と患者さんの情報が一致しているか確認を行っています。お名前を確認する場面では、ご自身の情報に間違いがないことを職員と一緒にご確認ください。

- リストバンドを装着します。

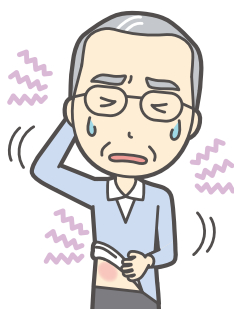
入院期間中はリストバンドを装着していただきます。リストバンドには患者番号、お名前、性別、生年月日が記載されており、検査・点滴、手術や輸血などの際の患者さん確認に使用いたします。安全優先のため、夜間でもリストバンドで確認しますのでご了承ください。



- 患者取り違え防止など安全確保のため病室入口やベッドの名前表示を行います。
- 病気や治療に関する疑問や心配事、医師の説明で不明な点があるときは、そのままにせず医療従事者へお話しいただき対話を重ねることが重要です。院内には、相談窓口を設置しておりますので、お気軽にご利用ください。

アレルギー情報について

- アレルギーのある方は必ず「薬物・食物アレルギー、ショックについての問診票」をご記入ください。



たまご



乳



小麦



そば



落花生



かに

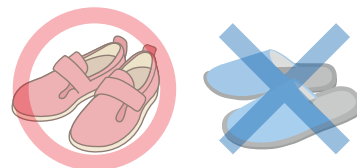


えび

転倒転落の予防について

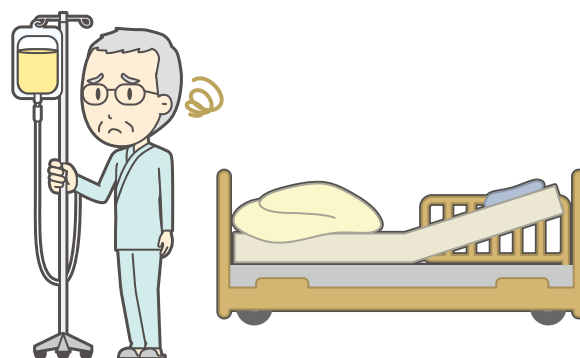
入院生活を送るにあたり、ご自宅等の住み慣れた環境と異なる療養生活環境への変化に加え、病気やケガによる体力や運動機能の低下および治療や検査などで投与する薬剤などの影響など、患者さん自身も思いがけないような転倒・転落事故が起こることが少なくありません。転倒は、多くの原因が重なり発生することも多く、高齢になるほど転倒予防対策を取っていても一定の確率で発生するといわれており、医療従事者の予防策だけで防ぐことは難しく、患者さんご家族のご協力が欠かせません。

- 入院中は、履き慣れた靴で滑りにくい靴底のものをご準備ください(スリッパ、クロックスは不可です。)



- ベッドを使い始めるときは、医療従事者と一緒にベッド柵の位置やベッドの高さなどを確認しておきましょう。
- ベッドマットレスの端に浅く腰掛けてしまうと、滑落することがあります。ベッドに腰掛けるときは、深く腰掛けるようにしましょう。
- 早朝や夜間に限らず、ベッドやトイレから立ち上がり歩行する際に、ふらついて転倒する方もいらっしゃいます。トイレや洗面など、介助が必要なときは医療従事者が付添いを行いますので、遠慮無くナースコールを押してください。

- 入院時に、転倒歴や薬歴など転倒転落の危険要因について確認いたします。また、服薬中の薬剤などは、全て申告していただきますようお願いいたします。



説明と同意（インフォームド・コンセント）の方針に基づき積極的な情報提供をします。

- ご家族の中から代表の方を選出して病状説明を受けられる体制を整えてください。病状説明を受けられる日程は、代表の方を通して調整いただくよう、ご協力をお願いします。
- 治療や検査について分からないことはそのままにせず、些細なことでも遠慮せずに医師または看護師におたずねください。



せん妄(せんもう)について

せん妄とは、**病気や薬の影響、環境の変化**などによって**意識が混乱する状態**のこと입니다

せん妄 = 認知症ではありません

せん妄のときは、こんな変化や特徴があります

- ☐ ぼんやりとしている、うとうとしてる
- ☐ 話のつじつまが合わない
- ☐ 見えないものを見えると言ったり(幻視)、ありえないことを言う(妄想)
- ☐ 朝と夜を間違える、病院と家を間違える、家族のことがわからない
- ☐ 治療していることを忘れて、点滴などのチューブ類を抜いてしまう
- ☐ 怒りっぽくなり、周囲に対して暴力的になる
- ☐ 夜になかなか眠れず、日中に寝てしまう
- ☐ 症状は急に生じることが多く、夜になると症状が激しくなる

注：すべての方に見られるわけではありません

せん妄になりやすい方

- 高齢の方(70歳以上)
- お酒の量が多い方
- 認知症あるいは普段から物忘れのある方
- 視力が低下している方や難聴がある方
- 以前にせん妄になったことがある方
- 脳出血や脳梗塞になったことがある方



せん妄の予防のために患者さん・ご家族の方ができること

- 朝から日光を取り込んで部屋を明るくしましょう
- 普段使用されているメガネ、補聴器は正しく着用しましょう
- 時計、カレンダーなどを近くに置いて日時の確認をしましょう
- 睡眠リズムを整えるために、日中の活動の助けとなるもの(本・新聞・TV・ラジオ・軽い運動など)を活用しましょう
- 痛み、便秘など本人が気になっている症状は早めに医療者に相談しましょう
- せん妄が起こったらハサミなどの危険物は近くに置かないようにしましょう



適切な治療を行えば、多くの方は症状が改善します

対応でお困りの際は、遠慮せず看護師までご相談ください。



肺血栓塞栓症(エコノミークラス症候群)とは

入院に伴い、ベッド上での安静、手術中長時間の同じ姿勢、術後の安静、患部の固定が必要になることがあります。運動量が減ることによって特に下肢静脈の流れが悪くなり、下肢に血液が貯留して、血液が固まりやすくなる場合があります。

この血液のかたまり(血栓)が剥がれ、血流に乗って肺動脈につまると肺血栓塞栓症(エコノミークラス症候群)を引き起こします。突然おこる胸痛や呼吸困難、さらにショック状態になり、生命に危険が及ぶこともあります。

しかし早期の診断は容易ではありません。そこで、原因に対する予防が推奨されています。(血栓形成の予防)

予防方法 ※患者さんが十分に歩行できるようになるまで行います。

1)早期離床

医師の指示のもとに歩行を開始します。

2)運動療法

足関節運動などの下肢の運動を行います。患者さんが自分で動かす自動運動、自分で動かせない場合などは徒手的な他動運動を行います。



3)下肢圧迫法(弾性ストッキングまたは弾性包帯)

圧迫包帯や弾性ストッキングを着用します。弾性力の強い靴下や包帯で下肢を圧迫して、血栓の予防を行います。

弾性ストッキングは入院後に看護師が下肢のサイズを測定し、患者さんに適したサイズのものを準備します。

装着後に圧迫のきつさや痛み、かゆみ、しびれなどがなければ確認していきますが何らかの症状があるときは我慢せずに医療従事者にお伝えください。皮膚が弱い方は状態に合わせて使用を考慮します。

4)間欠的空気圧迫法(フットポンプ)

足部やふくらはぎにカフをまきつけ、チューブを用いてそのカフに周期的に空気を送り込んで、カフが膨張・収縮することで空気圧で装着部位を圧迫して静脈の流れを促進させます。

ただし、循環障害、心臓病、静脈血栓塞栓症、下肢の炎症・皮膚疾患や感染症、その他医師が使用に慎重を要すると判断した患者さんには使用しないことがあります。その場合、他の方法を検討します。

上記、3)4)の圧迫法の合併症には、皮膚の発赤・水疱・びらん・床ずれや、血行障害、神経障害などがみられることがあります。合併症の徴候を認めたときは圧迫法の継続について検討し、適宜症状に応じた処置や治療を行います。

5)薬物療法(抗凝固療法)

血液を固まりにくくする薬を投与(注射または内服)。ただし、手術直後、出血傾向、出血の危険性が高い時は使用できません。また、出血が見られた場合には投与を中止することもあります。

決定予防法(複数選択可)

*リスクを有する全症例に早期離床と積極的運動を勧める

- | | |
|---|---|
| ☐ 下肢圧迫法(弾性ストッキングまたは弾性包帯) | ☐ 間欠的空気圧迫法(フットポンプ) |
| ☐ 薬物療法(抗凝固療法) | ☐ その他 |

これらの予防法を用いても静脈血栓塞栓症は100%予防できません。予防法を行っている期間にいつもと違う症状(息苦しさ、胸痛、動悸、足の腫れ、痛み、弾性ストッキングの装着や空気圧迫法による皮膚トラブルやしびれ等)があるときはお知らせください。静脈血栓塞栓症が疑われる場合は検査等を行い病状を評価し、発症した場合には専門医と相談して治療にあたります。

感染防止対策

お願い事項

- 入院の2週間前から不要不急の外出は避け、手洗いや外出時のマスク着用など健康管理には十分にお気をつけください。
- 病室に入るときや出るとき・食事前・排泄後など、こまめに手洗いや手指の消毒を行いましょう。
面会に来られた方も、面談前後に手洗いや手指の消毒をしましょう。
- 熱や咳などがある場合、マスクの装着を行いましょう。
マスクはご自身で購入をお願いします。
- 熱や咳のある患者さんは面会できません。
どうしても面会の必要がある場合は看護師へお伝えください。
- 感冒症状や下痢・嘔気・嘔吐など感染症が疑われるまたは、診断されたご家族は、面会をご遠慮ください。
- 感染症の広がり防止のために、個室隔離・面会制限をお願いする場合があります。
また、状況により防護具(マスク・手袋・エプロン・ゴーグル)などを装着して処置を行います。
必要に応じて、ご家族や面会の方への装着をお願いする場合があります。
必要に応じて、病室前表示をさせていただきます。
- お見舞い品は病室内には保管せず、ご家族が持ち帰るようにしましょう。
特に植物や生花などの花瓶や鉢などの水は、時間が経つと細菌が繁殖しやすく、感染症の原因になりますので持ち込めません。



針刺し等発生時対応に伴うウイルス検査のお願い

日頃より医療安全および院内感染防止について万全を期していますが、医療行為の途中で、針刺しや粘膜への血液飛散など、職員が感染症に罹患するリスクが高まる事象が発生する可能性があります。このような事象が発生した際、職員の感染予防のために患者さんのウイルス検査(B型肝炎、C型肝炎、成人T細胞白血病ウイルス、後天性免疫不全症候群ウイルス)を実施させていただく場合があります。検査結果については、個人情報保護法を遵守し、費用は病院負担となります。

ACP(人生会議)の取り組み

誰でも、いつでも、命に関わる病気やけがをする可能性があります。

ご自身が希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを受けたいかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。

もしもの時のために、ご自身が望む医療ケアを受けることができるよう、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みを「アドバンス・ケア・プランニング(ACP:人生会議)」と呼びます。

当院では、この「ACP(人生会議)」の取り組みとして、鹿児島県医師会が作成した「わたしの思い～受けたい医療・ケア～」を入院される全ての患者さんにご案内しています。

ご家族や大切な人と話し合いをしておけば、予期しない出来事や突然の病気など、あなたが自分の気持ちを伝えられなくなった時に、あなたの代わりに医療やケアについて考え、伝えてくれるでしょう。あなたが安心して望む治療を受けるためだけでなく、万一の際に家族が迷うことがないように、大切な家族のためにも、「もしものときのこと」を話し合うきっかけにしてみませんか。



※代理決定者：あなたの代わりに、受けたい治療などについて、あなたの気持ちを代弁してくれる人

人生に最終段階の医療やもしもの話し合いについて相談したいとき 治療の選択や療養場所を迷っているとき、これからのことを考えたいとき

人生に最終段階の医療については、医療・ケアチームから適切な情報提供と説明がなされたうえで、患者さんの意向を基本として十分に話し合い、方針の決定が行われることが重要です。心身の状態や状況に応じて、気持ちは変化することがありますので、何度でも繰り返し考え、話し合うことが大切です。また、ご自身が望む医療やケア、大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを受けたいかなどがありましたらお聞かせください。

私たちは患者さんに寄りそって共に考え、サポートさせていただきます。

臨床研修医による医療行為について

当院は、平成15年10月に厚生労働省より「医師臨床研修病院(管理型)」に指定されて以降、他の医療機関とも協力して卒後2年間の臨床研修指導を行っています。

研修医が行う診療、処置、検査など全ての医療行為に対して、指導医が「研修医の医療行為に関する基準」にもとづき、スタッフを含む診療チームの中で、監督管理を行っています。

地域の第一線の医療を担える医師養成のために、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、ご不明な点やご要望などがございましたら、担当医、担当看護師、診療科窓口にご遠慮なくご相談ください。

看護師特定行為研修について

看護師特定行為とは？

特定行為とは、医師の指示の元で手順書に準じて、専門分野の教育を受けた看護師が診療の補助を行うことです。看護師が特定行為を実施することにより、患者さんの状態に応じて迅速に適切な医療を提供することができます。

当院は、保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号および第4号に則り厚生労働大臣に指定された看護師特定行為研修を行う指定研修機関(指定研修機関番号2146004)です。

看護師として一定の経験を有し、かつ共通・専門分野の教育を受けたものが実習として当院での医療行為にあたっております。実習における医療行為につきましては、必ず医師もしくは指導者が立ち会いますのでご安心ください。

研修生による医療行為を拒否される方は、遠慮なく主治医もしくは、看護師等にご連絡ください。研修生の関与を拒否されても診療上不利益は生じませんのでご安心ください。また、同意された後でも同意を撤回できます。

当院は患者さんの個人情報保護に積極的に取り組んでいます

当院は、個人情報を下記の目的に利用し、その取り扱いには細心の注意を払っています。

個人情報の取り扱いについてお気づきの点は、患者サポート窓口までお気軽にお申し出ください。

いまきいれ総合病院と上町いまきいれ病院 両施設間での電子カルテ参照の同意について

公益社団法人昭和会では、いまきいれ総合病院と上町いまきいれ病院で、電子カルテを運営しています。

医療安全の面や診療連携の観点から、個人情報の配慮の上、両施設間での電子カルテ参照をさせていただくことに同意をお願いします。

当院における個人情報の利用目的

医療提供

- ▼当院での医療サービスの提供
- ▼他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
- ▼他の医療機関等からの照会への回答
- ▼患者さんの診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
- ▼検体検査業務の委託その他の業務委託
- ▼ご家族等への病状説明
- ▼その他、患者さんへの医療提供に関する利用

診療費請求のための事務

- ▼当院での医療・介護・労災保険、公費負担医療に関する事務およびその委託
- ▼審査支払機関へのレセプトの提出
- ▼審査支払機関または保険者からの照会への回答
- ▼公費負担医療に関する行政機関等へのレセプトの提出、照会への回答
- ▼その他、医療・介護・労災保険、および公費負担医療に関する診療費請求のための利用

当院の管理運営業務

- ▼会計・経理
- ▼医療事故等の報告
- ▼当該患者さんの医療サービスの向上
- ▼入退院等の病棟管理
- ▼その他、当院の管理運営業務に関する利用

- 企業等から委託を受けて行う健康診断等における、企業等へのその結果の通知
- 医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体、保険会社等への相談または届出等
- 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
- 当院内において行われる医療実習への協力
- 医療の質の向上を目的とした当院内外での症例研究
- 外部監査機関への情報提供

付 記

1. 上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨をお申し出ください。
2. お申し出がないものについては、同意していただけたものとして取り扱います。
3. これらのお申し出は、後からいつでも撤回、変更等をすることが可能です。

各種相談

当院では、患者さんが安心して入院生活が送れるよう、下記の部署やチームが病棟と連携を図りながら療養をサポートします。チームへの依頼をご希望の方は、お気軽に病棟スタッフへお声かけください。



退院支援チーム

社会福祉士や専従看護師が在籍し、経済的、社会的な相談や退院の支援をします。

口腔ケアチーム

『いつみても綺麗な口』を目指して、歯科医師・歯科衛生士・言語聴覚士・看護師等がチームとなって活動しています。
お口のことで気になることは、ご相談ください。

栄養サポートチーム(NST)

栄養障害のある患者さんに対し、生活の質の向上、原疾患の治療促進・感染症などの合併症予防を目的としたチームです。
主治医より依頼を受け、患者さん個人に合わせた栄養投与量や栄養方法の選定などを行います。

ハローワークによる就労支援

病気で長期療養中の方に、ハローワークの“就労支援ナビゲーター”が出張相談に応じます。

■ 日 時 第3火曜日

10:30~14:30

■ 場 所 いまきいれ総合病院 がん相談支援センター (2階相談室) *要予約

■ 相談窓口 ハローワーク ☎ 099-250-6079

いまきいれ総合病院 がん相談支援センター (直通)☎ 099-203-9123

患者サポート窓口のご案内

病気になった時、健康なときには考えられなかった心配事に、直面することがあります。
当院では、病気やけがによって生じる様々な経済的・社会的・心理的な問題について、各専門職が支援する「患者サポート窓口」を設置しております。

どのようなことでも、お気軽にお話しください。

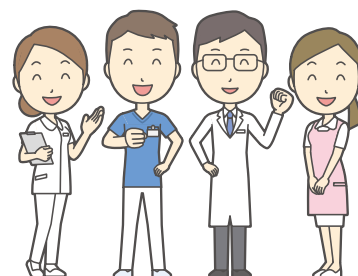
秘密は厳守いたします。

医師・看護師・社会福祉士・医事課・薬剤師・医療安全管理者・がん相談員
緩和ケアチームなどの専門職が担当します。

■ 相談時間 平日 8:30~17:00

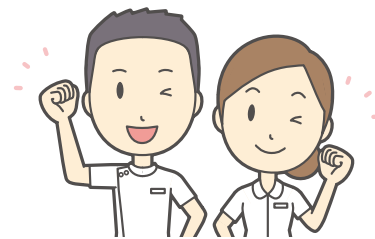
■ 場 所 2階エスカレーター横「患者サポート窓口」

■ 問い合わせ 患者サポート窓口 ☎ 099-252-1090(代表)



各種相談

当院は『地域がん診療連携拠点病院』で、以下のような活動をしています。



がん相談支援センター

当院では、**がんの相談窓口**を設置しています。
診断や治療について判断するところではありませんが、情報を提供し、一緒に考え不安を軽減するためのお手伝いをさせていただきます。

当院の患者さんに関わらず、面談・電話にてご相談に応じます。

がんに関することは遠慮なく何でもご相談ください。
社会福祉士・看護職と一緒に考えさせていただきます。

- 相談時間 月～金 **8:30～17:00**
- 場所 がん相談支援センター（2階）
- 問い合わせ いまきいれ総合病院
☎ **099-203-9123**（直通）
gansoudan@imakiire.or.jp



がん相談支援センター
サイトへ

相談無料
秘密は厳守いたします

緩和ケアチーム

がんに伴う痛みや吐き気などの症状や、気持ちのつらさを和らげたりする治療を行い、ご自宅で安心して療養を続けるための医療や福祉制度の活用のお手伝いやご家族のケアもいたします。
医師・看護師だけでなく、薬剤師・管理栄養士・理学/作業療法士・社会福祉士などチームでお手伝いいたします。

セカンドオピニオン

セカンドオピニオンは、患者さんが納得して医療を受けるための方法で、主治医以外の他の医療機関の医師に【第2の意見】を求めることです。

* 転院や主治医をかえることではありません。ご希望される方は、お気軽にお申し出ください。

ほっとサロン今給黎

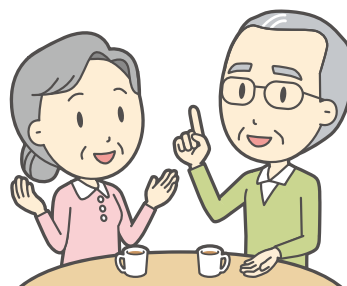
～がん患者と家族のおしゃべりサロン～

毎月第3水曜日

14:00～15:30

場所 iコネクト

※毎回30分程度のミニ勉強会あり、
途中退席可能、申し込み不要
(感染症の流行時期は完全予約制)



施設案内

入院セットのご利用について（外部委託 有料）

当院では患者さんおよびご家族の満足度向上と負担軽減、院内衛生管理徹底のため入院セットサービスをご用意しています。（レンタル：有料：セットプランあり）

- 病衣（ねまき）・タオルセット ○ 専用テレビカード
- 紙オムツセット

- 1階院内売店前に入院セット受付窓口がございます。

受付時間 9：00～17：00

土・日・祝日は、院内売店にて受付
入院セットを使用された場合、退院後、委託業者より請求書が
ご自宅（または申し込み書に書かれた住所）に届きます。



テレビ・冷蔵庫（有料）

専用テレビカードで、床頭台のテレビと冷蔵庫をご利用いただけます。

- 院内テレビは、イヤホンをご準備ください。

テレビ視聴時間 6：00～21：00（消灯時まで）

- 冷蔵庫は、テレビカード挿入後、ご利用いただけます。

ティーサーバー

病棟の廊下に設置しています。

麦茶、お茶、お湯、冷水を提供しています。お湯のご使用の際、お茶などが混ざることはありません。

お湯を入れられるカップのご用意をください。

※お湯の温度は、70～80度ほどに設定されています。やけどには、十分ご注意ください。



シャワールーム

シャワールームは、病棟内に2カ所あります。完全予約制となります。また貸し出し用のドライヤーもありますので必要な方はスタッフへお声かけください。

※足ふきマットは設置していません。

【利用時間】※30分間隔で予約できます。

午前 9:30～12:00 午後 13:00～20:00



洗濯について（有料）

9階にコインランドリーを備えてあります。

ドラム式以外は洗剤が必要です。

ご利用の際は、患者さんご自身で洗濯をお願いします。

100円硬貨でご利用いただけます。

（両替機の設置はございません。1階の院内売店で両替をお願いします）

使用時間 9：00～17：00



フリー WiFi ついて（無料）

1階 総合診療科受付付近、4階レディース病棟 談話室付近、
6～9階 デイルーム付近にて、フリー WiFi は利用可能です。

施設案内・病室について

院内売店のご案内

1階に院内売店 B'EASE（ビーズ）
がございます。

平日 7:00~19:00
土・日・祝日 8:00~18:00



入退院支援センター

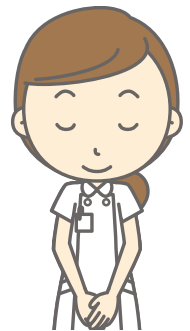
入院が決まりましたら、入退院支援センター
で看護師面談を行います。

キラメキ南国ビル2階へおこしてください。
(9ページ フロアマップ参照)



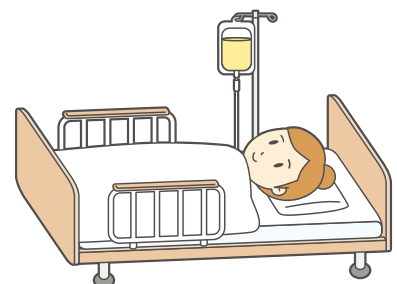
有料病室(個室等)を希望される患者さんへ

- 当院は紹介型急性期・救急指定病院のため、入院時における病棟の状況により、ご希望にそえない場合があります。
- 他の患者さんが、医師により治療上個室での管理が必要と判断された場合、お部屋の移動をお願いする場合があります。
- 個室が満床の場合、大部屋での入院をお願いすることがあります。
- 入院(入室)時点から退院(退室)時点までの差額室料が発生します。
※1泊2日の場合: 2日分の差額室料をいただきます。
- 入院時のお部屋についての事前連絡はいたしません。
あらかじめご了承ください。



大部屋を希望される患者さんへ

- 大部屋が満床の場合、病室が空くまでのあいだ一時的に個室での入院、もしくは、当該病棟以外での、大部屋での入院をお願いすることがあります。
(病室が空き次第、移動となります)
- 他の患者さんの安静を保つため、緊急対応として個室へ入室していただくことがあります。
- 患者さんの状態に応じて、病室内での移動をしていただくことがあります。
- 医師の指示で、治療上個室管理が必要と判断した場合、個室へ移動していただく場合があります。
- 当該病棟の大部屋・個室のどちらも満床の場合、主治医へ報告のもと他病棟への入室をお願いすることがあります。(当該病棟の病室が空き次第、移動となります)



差額病床について

料金: 1,100円 (1日当たり・税込)



※一部の4人部屋の窓際のベッドとなります。

設備: 4人部屋大部屋の窓側で壁で仕切り有り、2人部屋仕様
テレビ、冷蔵庫別途料金

料金: 2,750円 (1日当たり・税込)



※2人部屋となります。

設備: 広さが少し異なるため、洗面台がある部屋とない部屋があり
テレビ、冷蔵庫別途料金

料金: 5,500円 (1日当たり・税込)



※病棟の一番安い個室となります。

設備: 洗面台、テーブル(小)、椅子2脚合わせればベッド仕様
テレビ、冷蔵庫
※ベッドの向きが異なることもあります

料金: 7,700円 (1日当たり・税込)



※5,500円部屋より広いお部屋です。

設備: 洗面台、トイレ、チェアベッド、テレビ、冷蔵庫

料金: 9,900円 (1日当たり・税込)



※シャワーがあります。

設備: 洗面台、トイレ、シャワー、テーブル、椅子2脚、テレビ、冷蔵庫

料金: 11,000円 (1日当たり・税込)



※9,900円部屋より広く、ソファベッドのあるお部屋です。

設備: 洗面台、トイレ、シャワー、ソファベッド、椅子、テレビ、冷蔵庫

レディース病棟

料金: 11,000円 (1日当たり・税込)



設備: 洗面台、トイレ、シャワー、チェアベッド、椅子、机、テーブル(小)
テレビ、冷蔵庫

料金: 12,100円 (1日当たり・税込)



設備: 洗面台、トイレ、シャワー、机、椅子、ソファベッド、テレビ、冷蔵庫

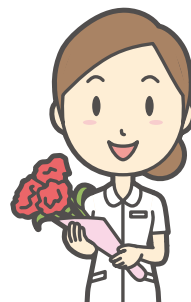
料金: 14,850円 (1日当たり・税込)



設備: 洗面台、トイレ、シャワー、机、椅子、ソファベッド、電子レンジ、テレビ、冷蔵庫

退院のご準備をお願いします

状態が落ち着いた患者さんには、速やかに退院をしていただいています。
入院期間に関しては、入院前にお伝えしておりますので、あらかじめ予定された入院期間での退院の準備をお願いします。
当院は急性期医療を提供する医療機関になり、一人でも多くの患者さんを受け入れるため、ご協力をお願いします。
入院での治療継続やリハビリテーションが必要と判断された患者さんに関しては、転院をしていただいていますので、ご理解とご協力をお願いします（医療ソーシャルワーカーが相談をお受けします）。



入院申込書（兼誓約書）の書き方

誓約の内容をご確認
いただき、下記へご
記入ください。

提出日を
ご記入ください

緑の枠

入院患者本人が
直筆にて記入し
ます。

代筆者とは

患者本人が記入
できない乳幼児
の場合など、代
筆が可能です。
その場合、代筆
者の氏名をお願
いします。

身元引受人とは

身元引受人は、緊急
時の連絡先など
といった身元引受を
される方がご記入
ください。



入院申込書（兼誓約書）
について詳しくは
こちらをご覧ください

記入例

入院申込書（兼誓約書）

A

ご記入日 2024 年 9 月 1 日

いまきいれ総合病院 院長 殿

この度の入院に際しまして、治療に専念し、治療・看護に関する指示を厳守し、病院の諸規則を守るとともに次のことを誓約します。

- 入院料その他の料金は、私又は未成年者の場合は保護義務者（親権者、未成年後見人又は扶養義務者等）が指定日までにお支払いします。
- 療養態度について、指示に反した行為があった場合は、何時退院を命じられても異議ありません。
- 療養上の都合又は病状により、病室の移動が行われても異議ありません。
- 病院の備品、器具等を破損、若しくは紛失した場合は弁償します。
- 退院日が決まった場合、指定期日までに必ず退院します。
- 身元引受人が転出した場合は直ちに届け出ます。また、当初の身元引受人に変更があった場合は、代理人を直ちに届け出ることを約束します。
- 健康保険証は月初めに必ず提示します。尚、変更が生じた場合も直ちに届け出ます。
- 入院費用等についての支払いができない場合には、保証会社であるニッポンインシュア株式会社が当該債務について代位弁済し、同社が私、または保護義務者に対し、代位弁済に基づく求償を行う場合があることに同意します。
- 裏面の「個人情報取扱に関する同意書」に同意の上え入院申込を行います。

カルテ№		病棟		入院日	2024/ 9 / 1
------	--	----	--	-----	-------------

患者本人署名

ふりがな	いまきいれ たろう											
氏名	今給黎 太郎											
生年月日	大・⑨・平・令	23	年	4	月	1	日	年齢	7	5	歳	
現住所	〒891-XXXX					電話自宅	- -					
	鹿児島県鹿児島市高麗町●番地					電話携帯	090-0000-XXXX					
勤務先	名称	鹿児島商店					電話会社	099-000-XXXX				
	所在地	鹿児島県鹿児島市1-1-1										
事情により患者ご本人さまが記入いただけない場合や患者ご本人さまが未成年者の場合は、以下の代筆者（親権者）欄にご記入をお願いいたします。												
ふりがな						続柄						
代筆者氏名（親権者）												
代筆者住所（親権者）	〒					代筆者電話番号	- -					

上記誓約内容の確認・同意の上、
太枠各項のご記入をお願いします

身元引受人

ふりがな	いまきいれ じろう											
氏名	今給黎 次郎											
生年月日	大・⑨・平・令	22	年	5	月	1	日	年齢	7	4	歳	
現住所	〒891-XXXX					電話自宅	- -					
	鹿児島県鹿児島市〇〇町●番地					電話携帯	090-XXXX-0000					
勤務先	名称	鹿児島建物					電話会社	099-XXX-0000				
	所在地	鹿児島県鹿児島市35町3-3-3										

患者の 弟

(注) 1 患者ご本人さまが未成年者の場合は保護義務者（親権者、未成年後見人又は扶養義務者等）の方が「患者ご本人署名」欄内の「代筆者」欄にご記入ください。
2 身元引受人は、緊急時の連絡先などといった身元引受をされる方がご記入ください。
3 本申込書は、入院後3日以内に病棟事務担当者へお出ください。
4 本申込書は、入院日より3か月間の効力とします。（入院日より入院継続中の方は除外です）
【入院について自己申告をお願いします】
※退院先医療機関の「退院証明書」をお持ちの方は、本館1階受付にお出ください。

※ご不明な点は、スタッフへおたずねください。
※書き損じた場合も、スタッフへおたずねください。

病院施設概要

9 階

- 病棟
- 患者洗濯室（コインランドリー）

6～8階

- 病棟

5 階

- リハビリテーション科

4 階

- 産科・婦人科外来
- レディース病棟
- 外来化学療法室
- 周産期母子医療センター NICU・GCU
- 新生児フォローアップセンター

3 階

- 手術室
- 透析室
- 高気圧酸素室
- HCU

2 階

- 総合案内
- 総合受付
- 各科外来
- 入院窓口
- キラメキ南国ビル2階入退院支援センター
- 消化器内視鏡センター
- がん相談支援センター
- 患者サポート窓口

*キラメキテラス
ヘルスケア
ホスピタル

*キラメキ南国ビル
パーキング

※キラメキ南国ビル2階入退院支援センター・駐車場・キラメキテラス
ヘルスケアホスピタルと連絡通路でつながっています。

*キラメキ南国ビル
2階入退院支援センター

1 階

- 総合案内
- 救急センター
- 救急・総合診療科
- 中央放射線課
- 放射線科（治療・診断）
- 防災センター
- 売店（B'EASE）
- 入院セット受付

交通機関・アクセスマップ



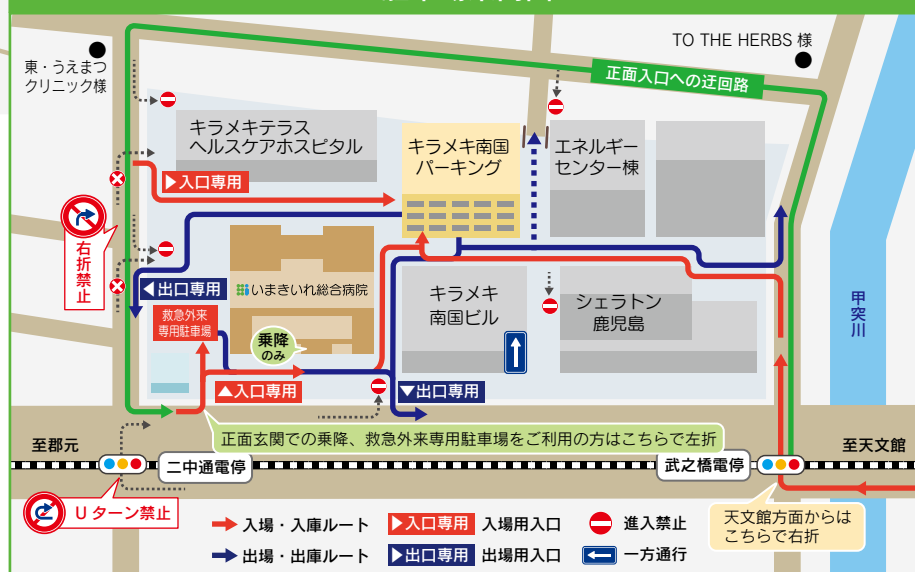
《アクセス》

- 市電／1系統(鹿児島駅・谷山線)
「二中通」電停下車
- バス／「二中通」バス停下車

《立体駐車場から当院への順路》

- 平日 8:30～17:00
駐車場3階専用通路より
当院2階入口
- 時間外・土・日・祝日
駐車場1階より
当院1階正面玄関

駐車場案内図



公益社団法人昭和会 IMAKIIRE GENERAL HOSPITAL

いまきいれ総合病院

URL

<https://imakiire.jp/>

〒890-0051 鹿児島市高麗町43番25号 TEL(代表)(099)252-1090 FAX(代表)(099)203-9119



2024.10 7,000
[1-010]